

施策番号	2705		
施策名	上下水道事業の経営基盤の強化・安定		
概要	将来にわたり安定した経営を行っていくため、維持管理や建設再投資に係るコスト管理の徹底、上下水道の一体体制による技術、資金等管理の一元化の推進など、一層効率的・効果的な事業運営を実施し、財政の健全化・経営基盤の強化に努める。		
担当局・部室	上下水道局・総務部	共管局・部室	
上位政策	27 暮らしの水		
施策に関する 主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン 京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 1㎡当たりの上下水道サービスをお届けするのに必要な費用(給水原価と汚水処理原価)(円)	b	c	266.1	268.1	268.1	100.0%	c	1.00	
2 自己資本構成比率(%)	b	a	55.5	56.5	55.5	101.8%	a	1.00	
3 上下水道事業の企業債残高の削減率(%)	b	a	1.98	4.13	3.27	126.3%	a	0.50	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも書えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	122	213	147	28	11	521	b	
	23.4%	40.9%	28.2%	5.4%	2.1%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					26年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 本施策は、上下水道事業の財政の健全化・経営基盤の強化を目指すものであり、経営指標の数値の動向が重要となるため						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●1m ³ 当たりの上下水道サービスを提供するのに必要な経費については、物件費の削減や、企業債の繰上償還等による支払利息の縮減等により総支出額は減少したものの、有収水量も減少傾向にあるため、前年度と同様c評価となった。 ●自己資本構成比率については、利益剰余金を企業債償還財源として活用し、企業債発行の抑制に努めたことなどにより、前年度に引き続きa評価と高い評価で安定している。 ●企業債残高の削減率については、企業債発行の抑制に努めたことなどにより前年度に引き続きa評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】上下水道の経営の安定度は、3年連続a又はb評価となり、安定している。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	水道事業	28,488,337	28,694,000	—	上下水道局
2	公共下水道事業	48,167,598	48,649,000	—	上下水道局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。(平成26年度決算額は特別損失を除いた金額です。)

<今後の方向性>

●平成25年3月に策定した京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)に基づき、将来にわたって安定した経営が行えるよう、各種業務における民間委託化の推進や企業債残高の縮減等に努め、より一層効率的・効果的な事業運営を行うことで、財政基盤の強化に努める。

施策名	2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定
-----	------	-------------------

指標名	1㎡当たりの上下水道サービスをお届けするのに必要な費用（給水原価と汚水処理原価）（円）
-----	---

担当課	経営企画課	連絡先	672-7709
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

1㎡の水道水をお客さまにお配りするために必要な費用と1㎡の下水を処理して放流するために必要な費用の合計

2 指標の意味

市民の暮らしを支える上下水道サービスのコスト抑制状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：給水原価+汚水処理原価
出典：水道事業ガイドライン及び下水道維持管理サービスのためのガイドライン

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	266.1	268.1	2.0円増	268.1	【基準値】平成24年度末の値	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	平成26年度に会計制度の見直しが行われたため、旧制度に基づく平成26年度数値を算定し、比較を行った。
----	--

5 評価基準

平成24年度末の値と比較して最新数値が
a：94%以下
b：94%超97%以下
c：97%超100%以下
d：100%超103%以下
e：103%超

6 基準説明

上下水道事業中期経営プラン（2013-2017）の開始時点に当たる平成24年度末の値と比較し、97%超100%以下をcとし、上下に3%刻みに基準を設定した。
平成24年度末 268.1円

7 評価結果

25	26	27
b	c	c

指標名	自己資本構成比率（%）
-----	-------------

担当課	経理課	連絡先	672-7722
-----	-----	-----	----------

1 指標の説明

水道事業と公共下水道事業の連結決算における総資本に占める自己資本の割合。事業の安定化のため、高い方がよい。

2 指標の意味

市民の暮らしを支える上下水道事業の財務の健全性を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：〔（自己資本金+剰余金）/負債・資本合計〕
出典：水道事業ガイドライン及び下水道維持管理向上のためのガイドライン

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	55.5	56.5	1ポイント増	55.5	前回数値からの改善	101.8%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	平成26年度に会計制度の見直しが行われたため、旧制度に基づく平成26年度数値を算定し、比較を行った。
----	--

5 評価基準

最新数値と前年度数値の差が
a：1.0以上
b：0.5以上1.0未満
c：0以上0.5未満
d：-0.5以上0未満
e：-0.5未満

6 基準説明

最新数値が前年度数値より下がることも考えられるため、前年度数値との差（最新数値-前年度数値）が0以上0.5未満をcとし、上下0.5ポイント刻みに基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
b	a	a

施策名	2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定
-----	------	-------------------

指標名	上下水道事業の企業債残高の削減率（％）
-----	---------------------

担当課	経理課	連絡先	672-7722
-----	-----	-----	----------

1 指標の説明

上下水道事業における企業債残高の平成24年度からの削減割合

2 指標の意味

市民の暮らしを支える上下水道事業の財務の改善状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：(24年度末の企業債残高-26年度末の企業債残高) / 24年度末の企業債残高 × 100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	1.98	4.13	2.15ポイント増	3.27	平成26年度 京都市上下水道局事業推進方針	126.3%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値				

備考
より適切な目標値とするため、今年度から、京都市上下水道局事業推進方針に掲げる企業債残高の削減割合を目標値とした。

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a : 100%以上
b : 80%以上100%未満
c : 50%以上80%未満
d : 30%以上50%未満
e : 30%未満

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、単年度目標に対する達成度が100%以上をとし、以下5段階に基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
b	a	a